

あひま サタダ

2011



vol.103

8



はいっポーズ!

《北見地区・大和》

黒須美保さんと来春ちゃん

(紹介は2ページです)

特集

- 乳牛90頭が資質を競う
～第8回JAきたみらい乳牛共進会～
- 農作業中の熱中症対策



季節の薫り

秋小麦収穫終える

長年、作付けしてきた「ホクシン」から「きたほなみ」にバトンタッチされた秋まき小麦の収穫作業が、7月29日から始まった。

好天に恵まれたなか作業は順調に進み、8月5日頃にほぼ終了した。

2～3割の増収を期待していたが、10ア当たり15%減の約570*ととどまりそうだ。

収穫を終え、パッチワークの主役と感じさせる黄金色の畑では、酪農家がトラクターにけん引したロールペラーで、牛の寝床に使う小麦わらの梱包作業を日没まで続けている。

小麦わらを回収した後、生産者は来年の後作に向けた耕起作業を行い、地力を高める緑肥が撒かれると数日後には緑一面の畑となる。



【JAきたみらい管内の秋まき小麦作付面積は4,849ヘクタールで、生産者は約770戸。写真は8月4日に、相内地区豊田の農道空港を離陸し空撮したものです。円写真は温根湯地区花丘の収穫作業】

表紙紹介

お嫁さんになりたい

写真は、蒸し暑さを感じるジャガイモ畑で撮影しましたが、来春ちゃん、可愛い笑顔、ありがとう！

お母さんが運転する車で、上仁頃みどり保育所へ毎日、元気に通う来春ちゃん。保育所では、仲良しのふうかちゃんと「おきなみ、こなみ」と歌いながら、縄跳びなどで遊んでいます。
6月に行われた保育所の運動会。家族揃って応援に行き、「かけっこ」や「おゆうぎ」にがんばる来春ちゃんに大きな声援と拍手をおくりました。
「大きくなったら、何になりたいの？」と尋ねると、「お嫁さんになりたい」と応えてくれました。イギリス王室の結婚式が、全世界にテレビ中継されて以来、白いシーツを腰に巻いて家の中を歩き、おじいちゃんに「後ろを見て！」と声を掛け、純白のウェディングドレスの雰囲気を楽しむ来春ちゃんです。
何でもハキハキと応えてくれる来春ちゃんに、お父さんとお母さんは「健康が何より。そして、優しい心を持ち、あいさつができる子に」と、思いを話してくれました。



【ご家族紹介】
左前列左から～おじいちゃんの則男さん（59）、来春ちゃん（3）、おばあちゃんの愛子さん（58）
後列左から～お父さんの友和さん（36）、お母さんの美保さん（34）
黒須さんは、秋小麦、てん菜、馬鈴薯（加工イモ含む）など約32ヘクタール作付けしています。



もくじ CONTENTS

	特集①	
		乳牛90頭が資質を競う 第8回JAきたみらい乳牛共進会
	特集②	
		農作業中の熱中症対策
	○季節の薫り……………	2
	○表紙紹介……………	2
	「お嫁さんになりたい」	
	○JAきたみらい ホットライン東西南北……………	8
	○ほのぼのの広場……………	12
	・きたみらいのホープさん	
	・思い出の写真	
	・マイティスト	
	「お菓子づくり」	
	・私のパートナー	
	・わが家のアイドル	
	・大きくなったら	
	・おらがまちのおしどり夫婦	
	・まちがいきがし	
	・読者の声	
	○青年女性ネットワーク……………	16
	○JAからのお知らせ……………	18
	○おひさまサラダクッキング……………	24
	「ニラたまのつけご飯」	
	「カボチャとイモの冷製スープ」	

たみらい乳牛共進会

特集

乳牛90頭が 資質競う

「第8回JAきたみらい乳牛共進会」がきたみらい酪農振興協議会と共催で7月16日、訓子府町の北見管内畜産総合施設で行われました。

本共進会は、地域酪農家の連帯と乳用牛の資質向上などを目的に開かれています。昨年は宮崎県で発生した口蹄疫の影響で中止し、2年振りの開催となりました。

厚い雲が空を覆い、肌寒さを感じる悪天候にも関わらず、会場には酪農家、行政とJA関係者、地域住民など約400人が来場しました。

会場中央のグラウンドでは、約90頭の乳牛が骨格や体型、乳房の形などの資質を競いました。また、会場内に設けられた子牛との撮影会、子どもお楽しみコーナー、バーベキューコーナー、お楽しみ抽選会などを来場者の皆さんが満喫した様子を添えて写真で紹介します。



▲主催者を代表して開会挨拶を述べる
JAきたみらいの西川組長



▲来賓を代表して祝辞を述べる
菊池訓子府町長



▲ショーマンショー中・高生の部で1位を受賞した
高3の蝦名武大さん（置戸地区）



▲第3部未経産ジュニアミドルクラスの順位を決める山口審査員

第8回JAき



▲未経産・経産の部の最高位と準最高位に輝いた4頭の乳牛と関係者のみなさん

【未経産の部】

- 最高位 「ヨシノファーム ジャーランチェ ダビンチ」 北見・吉野英之氏（右2頭目）
- 準最高位 「キヤメリア チャンピオン オリビア ET」 相内・小野牧場（右1頭目）

【経産の部】

- 最高位 「ローズウエル PINK ローズ ET」 訓子府・ローズウエルプロジェクト（左2頭目）
- 準最高位 「ホナミMBB バクスター ランツ」 訓子府・龍田茂久氏（左1頭目）



◀全部門の審査を務めた(株)十勝家畜人工授精所の山口寿典取締役指導部長。一頭一頭に鋭い視線を送って審査し、入賞牛に指を差す山口審査員



▲NHK北見放送局の取材に応える吉野英之さん

きたみらい牛乳
おいしいね！



篠原牛
やわらかくて
おいし〜い！



▲牛乳の消費拡大で行われた「きたみらい牛乳」先着200名無料配布に並んだ来場者のみなさん



ほく、牛
にがて！



ヨーヨーつりって
むずがし〜い！

農作業中の熱中症対策

松島松翠（佐久総合病院名誉院長）

私たちが住む北見地方の夏は例年、「お盆が過ぎたら涼しくなり、秋は間近」と言われてきましたが、昨夏は記録的な猛暑となり熱中症事故が多発しました。

気象庁の3ヶ月予報では、今夏の平均気温も平年並みか高いとの予報が出されています。

農家組合員の皆さんは、炎天下の畑で作業する機会が多いことから、農作業時の熱中症には特に注意が必要です。



熱中症のメカニズム

私たちの体には、気温が変化しても体温を一定に保とうとする仕組みが備わっています。

暑くなって体温が上がりはじめると、皮膚の血流量を増やして皮膚から熱を逃がしたり、汗を多くかいて、その汗が蒸発することによって熱を逃がしたりして、体温を下げます。

ところが、長時間暑さにさらされて大量の汗をかくと、水分や塩分が不足して脱水状態になり、体内の熱をうまく外に逃がせなくなってしまいます。すると体に熱がこもって、さまざまな体の変調を来すようになります。この様な状態が「熱中症」です。「熱中症」では、さまざまな症状が現れます。

症状の軽重から、次のように大きく三つに分けられます。

●軽症（Ⅰ度）：目まい、立ちくら

軽症（Ⅰ度）

くらばならぬ、立ちくらみ、めまい、目まい、筋力低下、吐き気、嘔吐、頭痛、吐き気、嘔吐、体のだるいなど。

中等症（Ⅱ度）

ふらふらする、立てない、意識障害など。

重症（Ⅲ度）

めまい、筋力のこわばり、こむら返りなど。

み、筋肉のこわばり、こむら返りなど。

●中等症（Ⅱ度）：頭痛、吐き気、嘔吐（おうと）、体がだるいなど。

●重症（Ⅲ度）：ふらふらする、立てない、意識障害など

熱中症を

予防するには

基本的には、症状は徐々に進みますが、突然に意識障害が起ることもあり、発症したときにはすでに重症になっていることもよくあります。また、目まいや頭痛など、中等症までの症状は熱中症特有の症状ではなく、他の病気でも起こるので、気が付かないうちに症状が進んでしまうことがあります。

農家の人には多いのは、炎天下での農作業を長く続けたときですが、中高年の方は、屋内で日常生活を送っているときにも発症しやすいので、注意が必要です。

外での農作業は、暑い時間帯を避け、早朝や夕方の方の気温の低い時間帯に行うようにします。また「つば」の広い帽子で直射日光を遮り、通気性や吸水性の良い衣服を着るようになります。

農作業中は、喉の渇きを感じなくても、水分、塩分を小まめに補給し

ます。喉が渴いたと感じたときには、すでに脱水状態になっていることもあるからです。水分と塩分の補給には、お茶と梅干しを一緒に取るとか、シユース、スポーツドリンクなどが適しています。ただし、アルコール飲料やカフェインを多く含む飲み物は、利尿作用があるため、水分補給には適していません。

「熱中症」は必ずしも外で起きるとは限りません。特に高齢者は屋内で「熱中症」を起すことが多く、また睡眠中に「熱中症」が起ることもあります。寝る前にもコップ1杯の水を飲むなど、水分補給を行います。



アルコールなど

お茶と梅干し・スポーツドリンクなど

もし熱中症が疑われたら

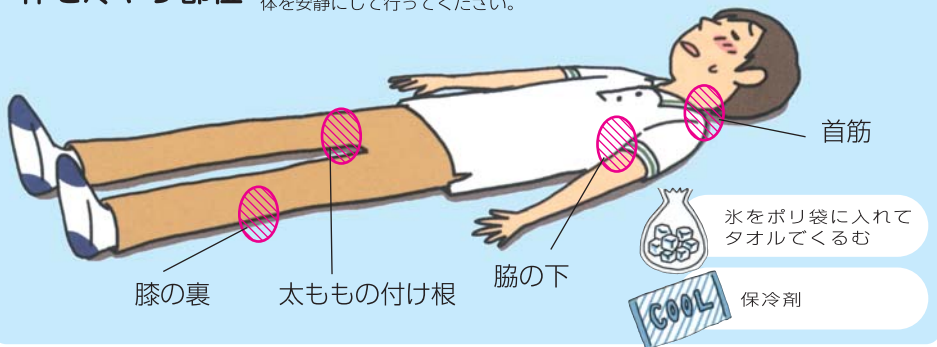
もし屋外での農作業中に、前に記した症状が出て「熱中症」の発症が

疑われたら、すぐに作業を中止し、涼しい場所に移動し、体を冷し、水分・塩分を補給します。

体を冷すには、氷をポリ袋に入れてタオルでくるんだものや、保冷剤などを使用します。衣服を脱がせ、ヘルトを緩め、首筋、脇の下、太もも付け根、膝の裏など、太い血管が皮膚の表面を通っている部分に当て

体を冷やす部位

※実際には涼しい場所で体を安静にして行ってください。



ます。

以上のことを行っても、症状が改善しない場合は、医療機関を受診します。それまで元気だった人が、暑い環境で急に具合が悪くなったときは、いつも「熱中症」のことを頭に置いておかねばなりません。

もし最初から中等症以上の症状が出たり、意識障害がある場合は、直ちに救急車を呼んで下さい。意識がはっきりしていなかったり、吐き気がある場合は、気管に入ると危険なので、無理に水分補給をしないで下さい。

お年寄りには特に注意

全国19都市の調査では、「熱中症」を起す場所は、年代別に見ると、64歳以下でさまざまな場所で「熱中症」を起していますが、65歳以上の高齢者では、半数以上が自宅で起しているとのこと。必ずしも暑い戸外とは限らないのです。

お年寄りは、次のような要因で「熱中症」を起しやすいのです。
1つは、体温調節機能の低下があるからです。末梢(まっしよ)の血流量が少なくなったり、汗をかきにくくなっています。つまり熱が発散できにくいのです。

2つは、体内の水分量の減少です。筋肉や血流量の減少などによって、体全体が慢性的な水分不足の状態になっています。

3つは、暑さや喉の渇きを感じにくいのです。閉め切った部屋で暑くなくても、暑さを感じにくくなってるので、エアコンを使わないで過ごしてしまいがちです。しかも喉の渇きを余り感じなくなるので、室内の温度が上がっても、水分を十分に取らない傾向があります。

この様に、お年寄りは戸外だけでなく、屋内で「熱中症」を起すことが多いので、室内が高温多湿にならないよう、温度や湿度、通気などにも十分注意しましょう。



地場産の餅を 地域住民に配布

～ふれあい祭りに
大勢の市民が～

AINONAI

相内



▲来場者に餅を配布するJA関係者のみなさん

相内地域の住民皆さんに親しまれている第22回「なんだあーふれあい祭り」が7月17日に、相内駅前広場で開かれました。
開会に先立ち、中川地区運営委員長より「JAきたみらいの安全・安心な農産物を食べて下さい」と挨拶し、青年部相内支部の三役、職員や来賓の皆さんと一緒に「はぐちょう

もち」で作った紅白の餅を配布しました。
当日はあいにくの雨模様となりましたが、会場に訪れた皆さんは、嬉しそうに餅を受け取っていました。
フレッシュミズもお祭りに協力し、「ゆでとうもろこし」「フライドポテト」などの販売を行い、賑やかな一日となりました。



▼研修に参加した会員のみなさん



OKETO

置戸

一泊研修で リフレッシュ

～視察研修に
会員11人参加～

フレッシュミズ置戸支部（大矢知美支部長）は7月12日と13日の2日間、会員11人が参加し札幌方面への視察研修を行いました。
視察先は「さっぽろサトランド」と「白い恋人パーク」の2ヶ所。
さっぽろサトランドは「都市と農業をつなぐテーマパーク」として、体験工房やふれあい農園などが設け

られ、さらにミルク館では、牛乳やヨーグルトの製造過程も見学することが出来ます。
白い恋人パークでは、お菓子づくりを体験。大きいハート形のクッキーに、アンパンマンや子供の名前などを書き込み、会員一人ひとりの思いを込めたお菓子を完成させ、家族へのお土産としていました。

小学生15人 生態系を学習

～カブトムシに
釘付け～



ONNEYU



▲昆虫館を見学する子供たち

温根湯小学校の2、3年生15人が7月4日、遠軽町の丸瀬布昆虫生態館を見学しました。

農地・水・環境保全対策事業の一つである「生態系保全」の学習を目的に行われたものです。

同町教育委員会の水本さんから、館内の説明と昆虫の種類や特徴など

を真剣に聞きながら、実際に飛んでいる蝶や生きているカブトムシなどにふれあいました。

子供たちは、飼育されているたくさんの昆虫を見ながら、きれいな環境だけで生きている在来生物の育成の保全と生態系について学ぶことができ、充実した研修となりました。

でき、充実した研修となりました。



▼ホクレン農総研の事業概要を聞く部員のみなさん



KAMITOKORO



肥料情勢と 残留農薬を学ぶ

～夏期視察研修に
部員15人が参加～

青年部上常呂支部（今田佳友支部長）は6月27日と28日の2日間、夏期視察研修を行い、部員15人が参加しました。

初日は、三笠市にあるホクレン肥料（株）空知工場を視察。各原料の輸入先や製造過程、さらに肥料情勢などの説明を受けた後、肥料の工程ライ

翌日は、ホクレン農業総合研究所を訪れ、残留農薬、小麦の品質検査（赤カビ病）方法と検査体制の説明を受けました。特に残留農薬について、玉葱と水稲の農薬基準値の違い、そしてドリフト対策として、低減ノズルの使用を呼び掛けていました。

た。

踊って声だして JAをアピール

～北見ぼんちまつりに
120人が参加～

KITAMI **北見**



▲サンバ北見ばやしを踊る女性部のみなさん

北見の夏を彩る「第58回北見ぼんちまつり」が7月15日から17日までの3日間行われました。
初日の「1000人舞踊パレード」には、市内の30団体約2700人の市民が参加。JAきたみらしいの組合員家族、青年部、女性部、フレッシュユミズ、役員ら約120人が浴衣や黄色の法被を着て参加しました。小型トラクターで引く山車を先頭

に、「さんば北見ばやし」のリズムに合わせ、「いも掘ってチョイ！玉ねぎチョイ！おいしいよ！」と威勢の良い掛け声に合わせ、市内中心部の商店街を踊り歩き、JAをアピールしました。
パレード終了後の慰労会では、冷たい飲み物で喉を潤しながら組合員間の交流を図りました。



▼地元農業をアピールした手作り行灯



KUNNEPPU

訓子府

地元農業を 若い力で伝える

～手作り行灯を
15人で引き歩く～

訓子府町で7月9日と10日の両日開かれた「第32回くんねっぷふるさとまつり」の「行灯パレード」に、JA青年部訓子府支部も参加し、玉葱など地元が誇る農産物の消費拡大をアピールしました。
9日の前夜祭に行われたパレードには、町内の企業や団体など10チームが参加。同青年部は、農作業を終えた夕方に集まり、10日ばかりで行

灯を仕上げました。
JAきたみらしいの基幹作物である玉葱や馬鈴薯などのキャラクターが描かれ、町民皆さんの目を引きつけていました。岡崎和久支部長は「地元農業を若い力で伝えたい」と話し、行灯を力強く引いていました。
10日の本祭では、会場入り口で牛乳を配布し、消費拡大を訴えました。

廃蛍光灯ガラスで アクセサリー作り

～日帰り研修に
会員8人参加～

TANNO **端野**



▲アクセサリー作りに励む会員のみなさん

フレッシュコミュニティ端野支部（縦山久美子支部長）は7月1日、日帰り研修に8人の会員が参加して、網走の流水硝子館で体験学習を行いました。同館で使用しているガラス原料は、野村興産㈱イトム力鉱業所が、全国700箇所の自治体から回収した廃蛍光灯ガラスです。

当日は、このガラスを使ったアクセサリーやとんぼ玉作りに挑戦。参加した会員の皆さんは、好みのデザインや色感を出そうと悪戦苦闘しながらも作品を完成させ、その出来栄に満足顔。昼食後、オホーツクシマリス公園を見学して帰路に着き、意義ある研修を終えました。

東西

▼回収された鉄クズを大コンに収める部員



RUBESHIBE **留辺蘂**

心地良い汗で 農村景観整備

～廃農機具と廃タイヤ
7.7ト回収～

青年部留辺蘂支部（渡辺琢磨支部長）は7月22日、廃農機具・廃タイヤ回収を行いました。本活動は、中山間地域等直接支払制度のもと留辺蘂、瑞穂両集落の支援を受け、例年行っているものです。当日は晴天に恵まれた中、15戸の集落協定者が個々に保管していた廃

農機具や廃タイヤを運び込み、青年部員8名が指定運搬業者のトラックへ積み込みました。回収された廃農機具は約6ト、廃タイヤ1・7トにおよび、地域の農村景観整備への貢献となりました。

思い出の写真

倉庫棟上げのもちまき

この写真は昭和40年頃に、玉葱バラ貯蔵庫の棟上げを祝って、「もちまき」が行われた時に撮ったものです。

貯蔵庫は乾燥機付きの木造で面積は約30坪。町内の建設会社に工事をお願いしましたが、このような倉庫は、北見管内では初めての試みでした。

当時、伊藤さん宅では玉葱、ハッカ、てん菜、薬草などを作付けし、その内、玉葱は「札幌黄」を2畝ほど栽培していました。収穫された玉葱は、木枠のコンテナに保管し、手作業で選別を行い、30^{センチ}入りの木箱やネットに詰めていました。

12月までに市場へ出荷するために、外灯を点けて夜遅くまで選別作業が行われましたが、雨や雪が降ったら作業は中止となり、作業能率は決して「良い」とは言えなかったことから、作業の効率化を目指して建てられました。

7月頃に棟上げを終え、お祝いとして「紅白のもち」が1俵(60^{センチ})まかれました。伊藤さんは「部落の方々がお祝いに駆け付けてくれ、小さな子供たちも大人に交じって、もち拾い楽しんでいたことを鮮明に覚えている」と、懐かしそうに話してくれました。

農業経営は息子さんの徳幸(のりゆき)さんに移譲した現在でも、おいしいメロン作りに励んでいます。



置戸地区・勝山
松田 敦子さん(51歳)



【写真説明】松田さんが作ってくれた4種類のお菓子～時計回りで～刻んだピスタチオで彩った「バナナタルト」、チュイルクッキー、チェリーなどが入った「ロールケーキ」、マンゴーが入った「シフォンケーキ」

きたみらいの ホープさん



規模拡大で 安定経営

上常呂地区・広郷
景政 大雄さん(33歳)

大雄さんは、玉葱・てん菜・馬鈴薯・水稻を栽培している景政友男さん、真理子さん夫妻の長男で就農して4年目です。

趣味は？

ドライブとDVD鑑賞です。

理想の女性？

容姿端麗で気が付く人が理想です。

結婚はいつ頃までに？

今すぐでも可です。

好きな食べ物と嫌いな食べ物は？

今はなかなか食べられませんけど、好きな食べ物は「レバ刺し」です。嫌いな食べ物は特にありません。

休日はどんな事をしていますか？

ドライブに行ったり、友達とカラオケとか飲みに行ったりして過ごしています。

農業に対する抱負を

玉葱を中心に規模拡大し、経営規模の安定を図りたい。また、輪作体型が取れていないので、早急に築きたいと考えています。

9月号の「ホープさん」は、JAきたみらい青年部置戸支部の？さんを予定しています。広報編集委員が、突然、取材にお伺いすると思いますが、何卒、ご協力願います。

私のパートナー



今月号の「私のパートナー」は、「年をとっても仲の良い夫婦でいたい」と話す、**縦山敦史さん**、**妃史さん**夫妻を紹介합니다。

家族で旅行

端野地区・一区

縦山敦史さん(36歳)
妃史さん(28歳)

Q初めて出会った時の印象は？

敦史さん 「可愛いなあ～の一目惚れです」

妃史さん 「怖い人だなあ～と感じました」

Q妃史さんの出身は？

北見市内です。

Qお互いに感謝しているところは？

敦史さん 「いやがらずに仕事も手伝ってくれ、育児も頑張っていることに感謝しています。」

妃史さん 「頼りがいあり、安心感を与えてくれます。子供の世話も積極的にしてくれるのでとても助かります。」

Q農作業も忘れ、1週間自由な時間があったら、お二人でどんなことをしたいですか？

家族で旅行に行きたいです。沖縄に行ってみたいですが、海外旅行でハワイもいいですね。

Qどんな家庭を築きたいですか？

今と変わらず、幸せいっぱい家庭を。年をとってじいちゃん、ばあちゃんになっても仲の良い夫婦でいたいです。

Q今後の目標、あるいは夢を？

敦史さん 「毎年毎年、試行錯誤の状態なので、いつかは先代を抜けるような経営をしたいと思っています。」

妃史さん 「今まで以上に家族で楽しく過ごしながら、良い作物を作っていきたいです。」

縦山さんは、秋小麦、てん菜、もち米、タマネギなどを約33畝作付けしています。

【写真紹介】

左から～**敦史さん**と長女の**莉愛ちゃん**(1歳半)、長男の**敦紀くん**(10歳)、**妃史さん**(28歳)。本誌が届いた頃、第3子が誕生予定です



【写真説明】

倉庫の棟上を祝って行われた「もちまき」。部落の方々が大勢訪れ、子供も大人もいっしょにもち拾いを楽しんでいます。

訓子府地区・実郷

伊藤 弘信さん(72歳)



My Taste お菓子づくり

My Taste

松田さんの趣味は、お菓子作りです。2人の子供が保育所に入所した頃から、自分の時間を持つことを機に、簡単に作れて食べられ、子供たちも喜ぶお菓子作りを始めました。

当初は「見よう見まね」とお菓子レシピ本の読み返し連続。そして、数え切れないほどのお菓子作りの試作を行った結果、「これだ」というポイントを見つけました。

この努力が実り、レシピ本の材料や作り方をアレンジしたり、あるいは北見市内の有名菓子店のケーキやクッキーなどを食べ比べ、どんな材料が使われているか判るまでとなりました。今回の取材も快く受けてくれた松田さんは、下地作りを含め2日かかりで、夏を彩る4種類のお菓子(右写真)を作ってくれましたが、「プロ顔負け」とも言える見事な出来栄と、その美味しさに驚きました。

朝・昼・晩と牛舎内での作業の合間を利用して、お菓子を作って友人や知人にプレゼント。そして地域のイベントでも陳列販売をしています。松田さんは「皆さんが、とてもおいしい！と食べてくれるのが一番うれしい」と笑顔で話してくれました。



大きくなったら



松田 太希くん (10才)

相内地区・豊田

車関係の仕事に

ぼくは大きくなったら車屋さんやレーサーなど、車に関係するところで働きたいです。

車の中でも特に、日産の「スカイライン」や「インプレッサ」が好きです。理由は速くてカッコいいからです。

とにかく車が大好きなので、「くるまおたく」になりたいです。

太希くんは、松田康文さん、あつみさん夫妻の3男です。

ほのぼのの広場



わが家の愛アイドル



上常呂地区・常川
西内 葵ちゃん (2歳9ヶ月)

絵本大好き!

いつも元気な葵ちゃん、「こんにちは！」と声をかけると、こぼれそうな大きな目をして笑顔で迎えてくれました。

葵ちゃんの取材を進めていると、お父さんとお母さんから「おもしろい写真撮ったから」と見せてくれたのが紹介している写真です(楽しそうですね)。

葵ちゃんは本が大好き。絵本を見たり、お母さんにおねだりして本を読んでもらっています。

最近、お母さんは自分の口癖を真似するようになり、子供は親を見て育っていることを実感しているようです。「どんな子に育って欲しいですか？」との問いに、「賢くなくても、偉くならなくても、ただ健康で素直に育ってくれれば満足です」と話してくれました。

葵ちゃんは、上常呂地区・常川の西内光さん、今日子さん夫妻の次女です。

昭和10年生まれの誠次さんは、中学校卒業と同時に就農。22歳の昭和32年に京子さんと結婚し、農業経営の柱となつて頑張つて来ました。40歳過ぎから土地改良区や農業委員の公職を重ね、家を留守にする機会が多くなつたことに、「妻には苦労かけたことを、今でも感謝している」と懐かしそうに話してくれました。

昭和9年、市内豊地で生まれ、中学校を卒業後、農業の農業を手伝いました。二人で可愛がっている愛犬「はなちゃん」の散歩は、京子さんの日課です。

楽しみなことは、4人のお孫さんの成長。特に市内に住んでいる小学3年生のお孫さんの、エレクトーン・合唱・ヒップホップの発表会は、必ず見に行きます。

「はなちゃんや孫たちのためにもまだまだ頑張らなくちゃ」と、はなちゃんの頭をなでながら話してくれました。

おらがまちの



普通”が1番の幸せ おしどり夫婦

誠次さん

京子さん



北見地区・大正
寺山 誠次さん(77歳)
京子さん(78歳)

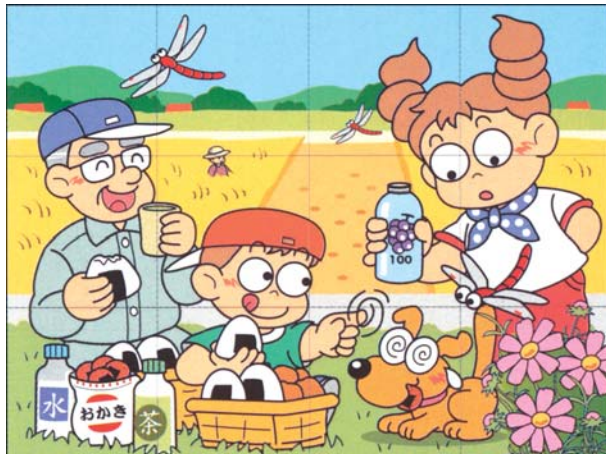
まちがいさがし

Bのイラストには、Aのイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を右下のイラストの中の数字でお答え下さい。

A



B



7月号クイズの当選者

7月号のまちがいさがしの答えは「2. 4. 7. 9. 10」でした。正解者61名の中から抽選の結果、当選者は次の方々です。尚、抽選はJAきたみらいの大坪常務にお願いしました。

()内は地区名

- ・三上 順子さん(温根湯)・前田 芳則さん(訓子府)
 - ・春木 君枝さん(留辺蘂)・本田恵美子さん(相内)
 - ・石村 直美さん(置戸)・長山 由季さん(上常呂)
 - ・山内 健雄さん(訓子府)・苅谷 光雄さん(北見)
 - ・山本 摩理さん(訓子府)・松下 明美さん(北見)
- 以上の方々には、中華料理店「笑安記」のお食事券(1000円)をプレゼントします。



応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙に答え(番号)と広報誌へのご意見・ご感想を記入してFAXでご応募下さい。抽選で10名の方に、エコープ店(ホクレン商事)の「商品券」(500円)を2枚プレゼントします。

子 子どもたちの笑顔が眩しい「おひさまサラダ」が大好きです。蒸し暑い毎日ですが、子どもたちは元気にプールや花火と夏を満喫しています。暑い夏もあつという間、親もめいいっぱい仕事に遊びに頑張りたいところです。

(留辺蘂地区・井上 夕紀さん)

昨年ほどの蒸し暑さはないものの、やっぱり暑いですね。夏休みを利用して、ご家族でキャンプなどどうでしょう。

編 集香員の皆さん、毎日ご苦労様です。家族みんなで楽しみにしています。体に気をつけて頑張ってください。

(上常呂地区・西東 スエさん)

ありがとうございます。

「おひさまサラダ」は、5名の編集委員会体制になりましたが、今後とも宜しくお願いします。

酪 農家なので、酪農関係のことも掲載してもらって嬉しいです。

(訓子府地区・浜田美沙子さん)

今月号は、きたみらいの乳牛共進会などを掲載していますが、今後、酪農関係の情報を収集し、出来る限り掲載したいと思います。

初 めて女性部の8支部合同一泊研修に参加しました。とても楽しい2日間でした。

家族に感謝です。

(端野地区・栗田 美子さん)

“家族に感謝” その通りですね。私も参加させていただきましたが、「ライオンキング」公演、すごかったですね。

青年女性ネットワーク

女性部

女性のパワーで

「仲間と協力の輪」広める

—8支部合同一泊研修に177名参加—

統一活動



▲森崎博之さんの「レディースセミナー」に、道内17JAの女性部と一緒に受講してきたみらい女性部のみなさん

2年に1度実施されるJAきたみらい女性部の「8支部合同一泊研修」が、7月7日と8日の両日に行われました。4回目となる今年は、177名という過去最大の部員が参加し、各地区事務所を経由した5台のバスは、札幌市へと向かいました。

初日の企画は二択で、一つは劇団四季の「ライオンキング」。今年1月に完成して間もない四季劇場は、平日にも関わらず満席。迫力と躍動感

の溢れる歌と演技に圧倒され、歓声と笑いの堪えない、あっと言う間の3時間でした。

もう一つは、JAグループがスポンサーとなってTV放映されている「あぐり王国北海道」でお馴染みの森崎博之さんの講演。

(株)農協観光が主催となって開かれた「JA女性部レディースセミナー」には、道内17JAの女性部員と一緒に観覧。森崎さんの番組を通じて、日々感じている北海道農業への思いや、食農教育への考え方など、貴重な話を聞くことが出来ました。

午後6時からは、宿泊ホテルで懇親会を開催。開会挨拶で上原部長は、6月10日の降雹被害を受けた部員皆さんに、お見舞いの言葉が述べられ



▲懇親会の開会に先立ち、挨拶を述べる上原部長



▲ぴったりと当たった新聞紙の長さ、思わず笑顔が

た後、「こんな時だからこそ、私たち女性部のパワーで協力し合って乗り切ろう」と呼び掛け、懇親会が始まりました。

各支部の部員が交じり合った18テーブルでは、劇団四季のミュージカルと森崎さんの講演の感想などの話に花が咲き、さらに美味しい料理に笑顔がこぼれていました。

懇親会のゲームは今回、札幌のレクリエーション協会の方々の協力を得て行われました。新聞紙を折って、指定の長さにする「ぴったりあわせ」や、職員5名の「年齢当てクイズ」、ジャンケンで負けるとほくろのシールが貼られる「ほくろ美人」などで盛り上がる中、閉会となりまし



▲177人の部員が一同に会して開かれた懇親会、部員みなさんの視線はステージに?

翌日は①谷田製菓、小林酒造、秩父別ロースン②カルビー千歳工場、くるるの杜③くるるの杜、福山醸造醤油工場④コカコーラ、札幌市民防災センターの4コースに分かれて視察。楽しかった思い出とお土産を手に、帰路に着きました。

6月からの事務局センター化に伴い、部員皆さんが不安を抱いているのは事実です。しかし、今回の研修会で各支部、また事務局との交流により、不安の軽減が図られたものと思います。最後になりましたが、参加された部員の皆さん、お疲れ様でした。

青年女性ネットワーク

J Aきたみらい青年部は7月14日、今年の統一活動「第6回8支部交流ソフトボール大会」を予定していましたが、朝からの降雨により急きょ、競技を「ドッジボール大会」に変更し、訓子府町スポーツセンターでの開催となりました。

この大会は、スポーツを通じて部員間の交流と親睦を図ることを目的に、平成17年から開かれていきます。

昨年は、宮崎県で発生した「口蹄疫」の影響で中止し、2年ぶりの開催に8支部143名の部員が参加。

午前9時、岡田副部長の開会宣言後、中村部長は「降雨のため、競技を変更してドッジボールとなったが、心地良い汗をかきながら部員間の交流を深めよう」と開会挨拶。引き続き、JAきたみらいの大坪常務から祝辞が述べられました。

部員を代表して



▲主催者挨拶を述べる 中村圭一 部長



▲青年部活動に激励の言葉を送るJAきたみらいの大坪常務

相内支部の萩原裕介さんは「ボールのスピードに臆することなくボールを受け止め、ドッジボールの醍醐味を楽しみたい」と力強く選手宣誓。

12チームがA・Bコートに別れ、優勝を目指して白熱した戦いが進められました。ドッジボールは、9対4の方の中に内野6名と外野3名の選手で行われます。短い距離の中でパスを回しながら、タイミングを見計らって攻撃する迫力あるプレーに、拍手や大きな声援が送られました。

競技終了後の焼き肉懇親会々場では、11月のオホーツク青年部研修大会で開かれる「アームレスリング大会」の出場権を目指して、8名の部員が腕力を競い合いました。

青年部

迫力ある展開に 好プレー珍プレー 8支部交流ドッジボール大会

統一活動



▲ボールをキャッチするのも大変ですが、逃げるのも大変なドッジボール



▲力強く選手宣誓を行った相内支部の萩原裕介さん

ドッジボール大会ではAコートで留辺薬・端野支部混合チームが、Bコートで相内・上常呂支部混合チームが、アームレスリング大会では上常呂支部の木村憲幸さんが優勝しました。



▲腕力を競い合ったアームレスリング大会



▲部員143名が参加して開かれたドッジボール大会の開会式

夏期

地区別懇談会終える

活発な意見や質問68件

7月4日から8日までの5日間、1地区1会場でJAの「夏期地区別懇談会」が行われ、組合員と家族の皆さんなど300名が出席しました。JAからは、常勤役員と地区毎の役員が出席し、地区運営委員長の司会により進行されました。

3時間という限られた時間の中で、8会場において次の項目について説明した後、数多くの組合員の皆さんから活発な意見と質問が述べ68件出されました。特に理事定数削減、残留農薬と栽培履歴、たまねぎ加工対策などについての質疑が多く出さ

れました。

懇談会では

- 営農指導事業から
- ・ 「農薬の適正使用に向けて」
- ・ 「6月10日の降雹・集中豪雨による被害状況について」
- 青果・農産事業は
- ・ 「各農産物の情勢」など7項目
- 畜産事業は
- ・ 「酪農畜産をめぐる情勢」
- 購買事業は
- ・ 「生産資材情勢」
- 総務企画部門は
- ・ 「全国共済農業協同組合連合会に対する出資増口について」



員51人が出席して開かれた懇談会。右の写真は、意見や質問に回答する西川組合長

の検討にあたって」
 以上の他に、「生産者組織の状況」などが事前に配布された資料に基づき説明しました。
 なお、地区毎の出席状況は別表の通りです。懇談会5日間で出された質問・意見・要望などについては、その場で考え方を回答致しましたが、検討を要する事項については、

地区毎の出席状況

懇談会日	地区名	組合員戸数	出席戸数	出席率 (%)
7/8	温根湯	79	27	34.2
7/6	留辺蘂	41	19	46.3
7/8	置戸	121	32	26.4
7/7	訓子府	322	52	16.1
7/7	相内	116	27	23.3
7/6	上常呂	130	17	13.1
7/5	北見	233	51	21.9
7/4	端野	219	75	34.2
合	計	1,261	300	23.9

8月開催の第7回理事会で協議した後、「Q&A」にてお知らせします。



▲タマネギの加工対策などについて質問する端野地区の日置秀俊さん

農業用廃プラ 370ト回収

循環型社会形成推進基本法が出来て、はや3年になろうとしています。現在、廃棄物問題は、排出抑制、再利用、リサイクルと適正な処理処分といった優先順位のもとで、新しい方向性が見出されています。

廃棄物の中でも、一番取り扱いが厄介なものがプラスチック。その処理については、環境問題に対する国民の関心が高まる中、クリーン農業を推進する観点からも適正な処理が求められています。

このためJAとして、農業用廃プラスチックの排出時期に合わせて、春と秋を重点推進月間として回収作業に努めています。

本年度の第1回目（春）が、6月

16日から7月11日にかけて、6ヶ所で行われ、農ポリ約350ト、農ビ約15ト、農薬食空容器約6トの計約370トを回収し、処理業者によって適正処理処分がされます。

なお、秋にも回収作業を行いますので、組合員皆様のご理解とご協力をお願い致します。



▲円写真は、農家組合員がトラックで持ち寄ったフレコン下の写真は、山積みされた農ポリが詰められたフレコン（いずれも、西相内の小麦乾燥施設で）



▲センター事務所の会議室に北見地区の組合



「CSRレポート2011」発行

JAきたみらいの社会的責任について、その果すべき役割と取り組みなどを冊子にまとめたものです。

今回で4回目の発行となる本年度は、特集として「きたみらいブランドの発信」「食の安心・安全」を掲載。今、JAきたみらいで取り組んでいる内容や、経営や人材育成に関する考え方、JAの社会的貢献活動について、写真を多く掲載しています。

主にJAに訪れた来客者と取引先など、あらゆる方々へ配布される予定です。



▲発行されたCSRレポート2011

ATTION

期待のバレイショ新品种

「スノーマーチ」を歌でPR

きたみらい馬鈴薯振興会

バレイショ新品种「スノーマーチ」を地元から全国へと発信していくイメージソングが完成。曲名は「スノーマーチのうた」です。地元歌手に生産者の子どもらも加わって、元気いっぱいに歌の収録とプロモーションビデオの撮影が行われました。今後は、歌を広めると同時に、「スノーマーチ」のPR活動が積極的に展開されます。

スノーマーチ 知名度アップ目指し

きたみらい馬鈴薯振興会や、オホーツクと北見の観光大使を務める北見市内在住の歌手・池政昇さんが「スノーマーチ」の知名度アップを目指して歌づくりに取り組みました。

3月11日の東日本大震災で被災した、宮城県石巻市にある池さんの後援会組織に、同振興会の会長を務める南博敏さんが「スノーマーチ」約3000⁺を支援物資として送ったことが縁です。

池さんは支援協力のお返しとして

「歌でスノーマーチを応援したい」と、旧知の音楽関係者に作詞と作曲を依頼し、送られてきた歌詞に「なまら」や「わやくちゃ」などの北海道弁を加えながらアレンジして完成しました。

出来上がった曲は、誰もが口ずさめる明るいイメージです。

「スノーマーチ ゆきのまち」「スノーマーチ ジャガジャガでどお〜」「スノーマーチ ハイ おまち」と繰り返すフレーズが印象的。また「に

くじゃが」「ジャガバター」「グラタン」「こぶきいも」などの料理名を歌詞に織り込み、新品种をPRしていきます。

収録は訓子府町の北訓地域集会所で7月10日に行われ、生産者4戸の5〜11歳の子どもたち10人が明るく元気に歌いました。子どもたちと一緒に収録を終えた池さんは「スノーマーチのおいしさが、子どもたちの澄み切った歌声で届く」と満足顔。南会長は「リズムカルな歌、畑で頑張る生産者の姿が伝わってくる」と話してくれました。

7月13日に、スノーマーチの白い花が咲く畑の中で、プロモーションビデオ撮影も行われて完成した曲は、今後、スーパーの店頭やイベント時に使用されます。

「スノーマーチ」は平成16年に、道農総研北見農試が開発した土壌病害に強い品種で、生産者の期待は大きくJAきたみらい管内で本年度、31戸が10・2畝を作付けしています。



▲イメージソングを明るく元気に歌う子どもたち
(7月19日の収録様子)



▲スノーマーチの白い花が咲く畑で、7月13日に行われたプロモーションビデオ撮影

全道共進会に 22頭出場権獲得

第61回北見管内家畜共進会

ホクレン北見支所は7月23日、訓子府町の北見管内畜産総合施設で「第61回北見管内総合家畜共進会」を開催しました。管内から選りすぐりの112頭の



▲第2部未経産ジュニアクラスを審査するロジャーターナー氏

乳牛が出場し、体型と乳房を含めた資質を競い、JAきたみらいの6地区からは50頭が参加。審査員は、アルタジェネティクス社のロジャーターナー氏。本共進会は、9月3日から安平町早来で開催される「第15回北海道総合畜産共進会（乳用牛部門）」への出場権も兼ねていることから、各部の出品者は乳牛の容姿を整えながら、真剣な眼差しで引き付けていました。

審査の結果、当JAから13頭の乳牛が1等（別表1）に入賞。9月3日から開かれる道総合畜産共進会には、当JAから22頭（置戸1頭、訓子府10頭、相内2頭、上常呂3頭、北見6頭）が出場します。なお、グラントチャンピオンには津別町・柏葉俊さんの「オークリー



▶審査員を務めたアルタジェネティクス社のロジャーターナー氏

DJピヨンセ、Rグラントチャンピオンには、えんゆう・木村吉里さんの「ダウティバレーセプトカシイ」が受賞しました。



▲各部チャンピオンのインターミディエイト・チャンピオンに輝いた乳牛と山内さん家族

JAきたみらい出品各部1等入賞牛（別表1）

部	序列	出品番号	名号	地区名	出品者
2部	1等1席	215	テイバー チェアマン ブラバント コピア	訓子府	平田 明奈
2部	1等3席	202	ビーマンゴールドウインビューロン	上常呂	溝手 義彰
3部	1等1席	312	エリー サマー ヴァカンス	訓子府	森岡 えり子
3部	1等4席	317	キヤメリア チャンピオン オリビアET	相内	(有)小野牧場
4部	1等2席	410	DHエリー プラット	北見	山内 誠
6部	1等1席	605	ヨシノファーム ジャーランチエダピンチ	北見	吉野 英之
8部	1等1席	801	ニューパーチ サベジプラット コピア	訓子府	渡辺 誠
9部	1等2席	902	パレルファーム プライリー セブン	上常呂	神田 典廣
9部	1等3席	905	アポロ ゴールドウイン ジャネット	相内	(有)小野牧場
10部	1等1席	1013	ローズウエル PINK ローズET	訓子府	ローズウエルプロジェクト
11部	1等1席	1104	DHデボ デイジーエー マテツク	北見	山内 誠
13部	1等2席	1309	ロツクウダーウイン オフパドジョンET	北見	(有)上野牧場
15部	1等2席	1501	RCP チャンピオン Jシドニー ET	置戸	ローヤルチャンピオンプロジェクト

各部チャンピオン

チャンピオン	出品番号	名号	農協名	出品者
ジュニア・チャンピオン	501	ビクトリアウオールパラダイスティアナ	オホーツクはまなす	永峰 勝利
R・ジュニア・チャンピオン	106	オークリーフサラアレン	津別町	柏葉 俊
インターミディエイト・チャンピオン	1104	DHデボ デイジーエー マテツク	きたみらい	山内 誠
R・インターミディエイト・チャンピオン	1108	タイティブルツク アドベント サンド	湧別町	鈴木 聡
シニア・チャンピオン	1502	オークリーフDJピヨンセ	津別町	柏葉 俊
R・シニア・チャンピオン	1305	ダウティバレーセプトカシイ	えんゆう	木村 吉里

各地の味覚に 2万人が舌鼓

新・ご当地グルメグランプリ北海道

会場食材にこだわったご当地グルメの祭典「新・ご当地グルメグランプリ北海道2011 in オホーツク北見」が7月2日と3日の両日、北見市端野町で開催されました。

昨年の上川管内美瑛町に続き2度目の開催。今回は13種類が出品され、総食数は2万3654食にも及び、2日間で約2万1800人訪れ、各地の味覚を楽しみました。

グランプリは「別海ジャンボホタテバーガー」が昨年に続き2連覇を果しました。地元オホーツク管内の出場組では、「オホーツク北見塩やきそば」が3位、「オホーツク干柱塩ラーメン」が5位、初出場の「オホーツク網走ザンギ丼」は10位となりました。



▲JAきたみらいの販売ブースも大勢の人で賑わいました



▲ステージに勢ぞろいした上位3団体のメンバー

実行委員長を務めたオホーツク北見塩やきそば推進協議会の梶井敏幸会長は「当初予定の来場者数を大きく上回り、開催地として一安心。地元不利という劣勢の中、昨年の5位からの3位に満足。来年はグランプリを取りたい」と喜びと意欲を話してくれました。

なお、JAきたみらいも実行委員会の一員として、タマネギの食材提供や人的対応などで協力しました。

第三の果実を 目指して

スイカ研究会を発足

当JA管内における果実栽培は、メロンとイチゴの2品目です。

JAは、ビニールハウスの有効活用が図られ、農業所得のアップを目指した「第三の果実」を検討してきました。

外食産業が急速に伸びている中、レストランやホテルでデザートとして人気が高いスイカに着目し、農家組合員にメロン、イチゴに続く果実としてスイカ栽培を呼び掛けました。

その結果、今年の4月に9戸の生産者で「スイカ研究会」を立ち上げました。スイカの品種は「紅まくら」と「小玉スイカ」の2種類を中心に栽培し、面積は550坪。

7年前に、息子さんの重雄さんに経営を委譲した訓子府地区・柏丘の牧島新太郎さん(72)も研究会の一員。両品種を約



▲小玉スイカを収穫する牧島さん

70坪栽培する牧島さんは7月19日に、「小玉スイカ」の収穫を始め、7箱(8〜10kg入り)を関東方面の市場に初出荷しました。

牧島さんは「スイカは栽培管理が難しいが、問題点などを克服し、市場や消費者に支持され、甘くて歯ごたえのあるスイカを栽培したい」と意気込みを話してくれました。

同研究会は産地確立に向け、会員の普及と栽培技術研修会などを積極的に進めていく予定です。

おひさまサラダ編集委員会

新体制で取材活動

従来の編集委員会は、各地区の担当者8名とセンター事務所の職員など12名で構成されていましたが、本年6月からの地区担当者のセンター集約に伴い、当JAの広報編集委員会を次の通り変更しました。

■編集委員会の変更内容

- ①地区担当者による取材活動を廃止。
- ②地区担当者ごふれあいグループの職員（以下、広報協力員とする）が連携して、各地区の情報収集（東西南北、ほのぼの広場の対象者の

選定やその他行事など）を行います。

③広報協力員の情報提供に基づき、5名の編集委員が各地域と組合員皆様のところへ伺い、取材活動を行いますので、ご理解と協力をお願い致します。

■新編集委員体制

- 広報協力員（別表の通り）
- 広報編集委員（別表の通り）

第6回

理事会報告

●平成23年7月29日（金）

7月29日、午前9時00分より第6回定例理事会が開催され、報告事項17件、議決事項2件が協議され、原案通り承認されました。

【報告事項】

- ①内部監査（個人情報保護）報告について
- ②平成23年度監事会研修について
- ③組合員状況報告について
- ④財務状況報告について
- ⑤平成23年度夏期地区別懇談会意見集約について
- ⑥JAバンク基本方針に基づく「体制整備モニタリング報告」について
- ⑦平成23年度作付け実態調査の集約について
- ⑧作況調査（7月15日）報告について
- ⑨米・水田政策に係る組織討議について
- ⑩平成22年度産共計玉葱・食用馬鈴薯の精算について
- ⑪総務・営農専門委員会合同研修について
- ⑫平成24年度農業予算概算要求について
- ⑬給油所における「トラクタータイヤ」交換等作業などの外注委託について
- ⑭生乳生産状況及び個体取引価格状況について
- ⑮第8回きたみらい乳牛共進会結果について
- ⑯第61回北見管内総合家畜共進会（乳牛の部）について
- ⑰ジャガイモシストセンチュウの新たな発生について

【議決事項】

- ①出資減口及び持分譲渡について
- ②固定資産の取得について

広報協力員

地区名	温根湯	留辺蘂	置戸	訓子府	相内	上常呂	北見	端野
地区担当者	北川卓也	渡辺大樹	酒井沙織	菅原明希	中川裕二	加藤正人	塩田こず恵	扇谷光輔
ふれあいグループ	今野健	黒宮裕一	佐藤秀昭 GM	小林雅司 GM	竹倉雅洋	野口和寿	西村弘 GM	南保和幸

※主に情報収集を行い、広報編集委員に情報を伝えます。

広報編集委員

地区名	温根湯	留辺蘂	置戸	訓子府	相内	上常呂	北見	端野
編集委員長	中川裕二	扇谷光輔	堀仁志	堀仁志	中川裕二	荒畑正紀	小野寺夢	扇谷光輔

※5名の編集委員が各地区の取材活動を行います。



▲5名の編集委員（左手前から）中川職員、扇谷職員、荒畑職員、小野寺職員、堀職員

あなたのライフプラン応援します

夏貯金キャンペーン

募集期間 平成23年
6月1日(水) ▶ 8月31日(水)

期間中の定期貯金の適用利率 **0.4%** 固定

スーパー定期5年
1年・2年・3年・4年 0.2%

お取扱条件 新規で10万円以上お預入または、満期継続時は10万円以上の増額書替を対象とします。

詳しくは、お気軽に
JAきたみらい 各支店窓口までお問い合わせ下さい。



【材料：4人前】
 温かいご飯 ……………茶碗4杯分
 卵 ……………4個
 ニラ ……………1束(100g)
 トマト ……………小4個(400g)
 A しょうゆ ……………大さじ2杯
 オイスターソース …大さじ1 1/2杯
 酒 ……………大さじ1杯
 砂糖 ……………少々
 塩 サラダ油 ゴマ油

ニラたまのつけご飯

【エネルギー440kcal・塩分2.4g・調理時間10分】

【作り方】

- ①卵はボウルに割り入れ、塩少々加えて混ぜる。ニラは3cm長さに切る。トマトはへたを取り、横半分に切ってから縦に食べやすく切る。
- ②フライパンにサラダ油大さじ1 1/2杯を強火で熱し、①の卵を入れ、手早く混ぜてふわふわに焼き、取り出す。
- ③②のフライパンをキッチンペーパーでさっと拭き、サラダ油・ゴマ油各小さじ1 1/2杯を熱し、①のトマトを入れていためる。トマトに火が通ったら、A、①のニラを加え、②の卵も戻し入れてさっといためる。
- ④ご飯を器に盛り、③をのせる。

一家の光2011年6月号料理カードからー
調理：田口成子



【材料：4人前】
 カボチャ ……………1/2個(400g)
 ジャガイモ ……………2個(250g)
 タマネギ ……………1/2個(100g)
 牛乳 ……………2カップ
 塩 ……………小さじ2/3～1杯
 オリーブオイル

カボチャとイモの冷製スープ

【エネルギー232kcal・塩分1.1g・調理時間30分】

【作り方】

- ①カボチャは種とわたを取り、皮をそぐようにしてむき、2～3cm角に切る。ジャガイモは皮をむき、2cm角に切り、さっと水洗いする。タマネギは繊維に沿って薄切りにする。
- ②鍋にオリーブオイル大さじ1/2杯を弱火で熱し、①のタマネギを入れ、5～6分、透きとおってくるまでいためる。①のカボチャ、ジャガイモも加え、水2カップを加えてふたをし、弱めの中火で17～18分煮る。
- ③カボチャの形が崩れてきたら牛乳を加えてさらに煮、塩をふって味をととのえ、火を止める。あら熱が取れたら冷蔵庫に入れ、冷やす。

一家の光2011年6月号料理カードからー
調理：田口成子

編集後記

・秋小麦の刈り取りが始まり、本広報誌の「季節の薫り」でも毎年の様に紹介している。いつも畑からの撮影だったが、今年は勇気を出して友人が所有するセスナ機に乗り、初めての「空撮」にチャレンジした。
 ・身震いを感じる中、セスナ機のエンジンはフル回転して、上空400mに到達。天候にも恵まれ、上空から眺める景色は抜群だった。眼下に広がる小麦、ジャガイモ、タマネギ、てん菜、デントコーンなどの色も変化し、まさに畑のパッチワークだった。素晴らしい景色を眺めるのもそこそこに、広大な農地で大型コンバインが、小麦を刈り取る様子をカメラに収めようと、シャッターを切り続けた。
 ・約40分のフライトも無事終え、事務所でパソコンに画像を取り組んだ結果、何とか103号の「季節の薫り」に掲載する写真が撮影出来、胸を撫で下ろした。
 (堀 仁志)

JAきたみらい概要

(平成23年7月20日現在)

- ・組合員数(正) 1,843人
- ・組合員数(准) 5,969人
- ・組合員戸数(正) 1,260戸
- ・貯金 96,727百万円
- ・貸出金 22,864百万円
- ・出資金 5,082百万円